

【日々の研修コラム】

国立特別支援教育総合研究所 令和3年度～令和4年度障がい種別特定研究
「知的障がい教育における授業づくりと学習評価に関する研究」に本校が研究協力機関として委嘱されました。

本校の日々の取組が認められ、今年度より国立特別支援教育総合研究所における「知的障がい教育における授業づくりと学習評価に関する研究」について、研究協力の依頼がありました。

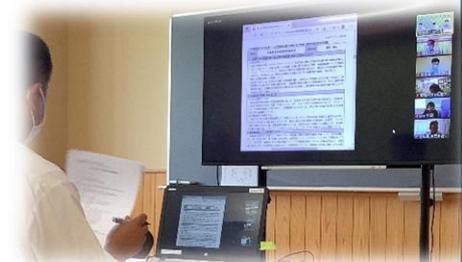
「一人一人の子どもたちにどういった力が身に付いたのか」という学習の成果を的確に捉えることで、教師が指導の改善を図ったり、児童生徒自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かったりできるようになります。こうした学習評価から教育課程や学習・指導方法の改善と一貫性のある取組を進めることができます。



単元案にて、単元構想から学習評価まで行い、指導改善、教育課程の改善へとつなげています。

本校の研修テーマ「資質・能力を育む単元研究会からのカリキュラム・マネジメントの充実」で取り組んでいます（詳しくは研修部のページをご覧ください）。

6月29日（水）には、第1回研究協議会が行われ、全国の特別支援学校（7校）や研究協力者である文部科学省の加藤調査官、弘前大学大学院教授菊地一文先生らを交えて、学習評価に関する全国的な現状と各校の取組について議論がなされました。



【6月29日 Zoom 会議の様子】

今後も様々な情報を得ながら、子どもたちが新しい学びに出会い、学びを味わうことができるように、子どもたちの学ぶ姿をしっかりと見取り、職員同士で学び合い高め合いながら、指導を改善していきたいと思えます！